

建設産業の担い手確保・育成について ～「建設産業担い手確保育成センター」の設置とモデル工事の実施～

若者

- **新卒者を確保できない**
イメージの悪さ、休日の少なさ、収入の低さ
- **3年以内に半分辞める**
人間関係、体力、給与・収入の問題

女性

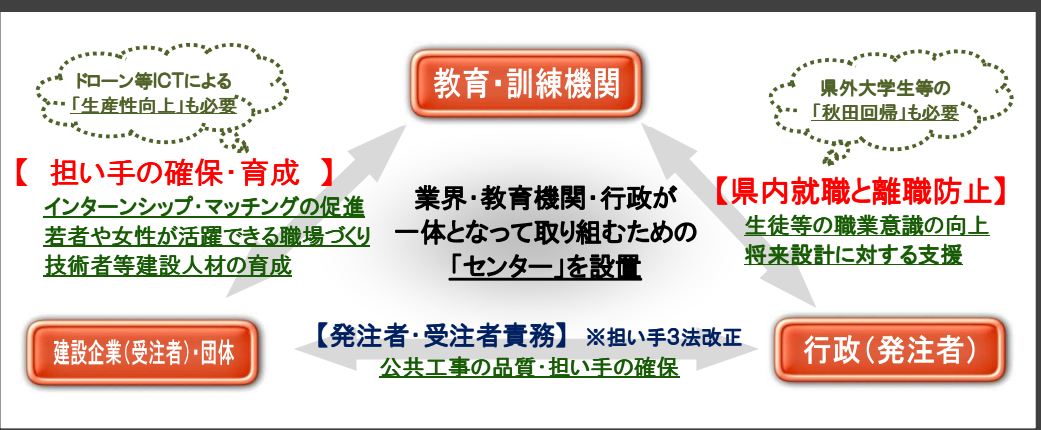
- **極めて少ない(特に技術者)**
男社会というイメージ、馴染みがない
- **働きにくい、活躍できない**
現場の環境が悪い、休みにくい

建設産業が衰退すると・・・

- ☑ インフラに重大な支障
- ☑ 災害・除雪対応への悪影響
- ☑ 雇用の場の縮小

県民の安全・安心が脅かされ
人口問題もさらに深刻化する

担い手の確保・育成のためには産学官の連携が不可欠



建設政策課に「建設産業担い手確保育成センター」を設置(H29.9)

センター運営委員会による企画・調整のもと、連携して事業を実施

- 【産】 秋田県建設産業団体連合会、秋田県建設業協会 等
- 【学】 高校、ポリテク(カレッジ・センター)、県立技術専門学校 等
- 【官】 建設部、あきた未来創造部、産業労働部、教育庁、河川国道事務所 等

<平成29年度6月補正予算 19,041千円>

新 建設産業担い手確保育成センター事業

(1) ワンストップ体制の整備 (5,027千円)
担い手確保育成推進員(仮称)の配置
⇒ 教育・女性活躍の2名体制で
情報収集・相談対応等

(2) 積極的な広報・マッチング活動 (541千円)
学生の県内建設企業等へのAターン促進
⇒ 県内外大学訪問・学生インターンシップ
既存事業による出前講座・現場見学会の取組と連動

(3) 秋田に定着する建設人材の育成 (7,820千円)
秋田定着を希望する若者の資格取得支援
⇒ 県内建設企業就職希望者向けの
2級学科試験対策講座(土木・建築コース)

(4) 建設業界での女性活躍ネットワークの立ち上げ (1,319千円)

- ✓ モデル地域において女性活躍推進の母体となる組織を創設
- ✓ 女性活躍フォーラム、建設女子研修会・交流会等を実施
⇒ 29年度内に女性活躍ネットワークの範囲を他地域に拡大

(5) 民間との連携による建設人材の育成の場の形成

- ✓ 民間による建設ドローン学校の開設・拡充を支援(補助) (4,000千円)
⇒ インフラ点検やICT土工で活躍するドローン人材を育成
- ✓ 廃校を活用して生徒・学生向け建設ドローン交流会を開催 (334千円)
【数年後】全天候型施設での大規模イベントに発展
企業間連携により人材育成拠点を形成し、秋田をi-Construction先進地に押し上げ

<平成29年度県発注工事>

モデル工事の実施

- ① 女性技術者登用
・ 女性技術者配置
・ 快適トイレ導入



- ② ICT土工
・ 3次元起工測量
・ ICT建機施工



UAV(ドローン)による3次元測量

- ③ 完全週休2日制
・ 土日休工